

第16期(2021年3月期)決算説明会

2021年6月1日



アジアパイルホールディングス株式会社

目次

I 決算のポイント、主なトピックス	1
II マーケットの動向	10
III 決算概要(連結)	15
IV 経営概況	21

I 決算のポイント、主なトピックス

I-1 決算のポイント

➤ 2021年3月期 連結業績の概況

(%表示は対前期増減率)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
871億円 (△6.4%)	33億円 (△34.2%)	30億円 (△33.0%)	24億円 (△10.1%)

➤ 国内・海外の状況

	コロナ感染拡大影響	その他特殊要因
国内	経済停滞・競争激化 → 減収減益	シントク工業子会社化ののれん発生益
海外	経済停滞・再エネ分野注力 → 減収利益前年並	ミャンマー・減損計上

I-2 主なトピックス

➤ 部門別売上高(国内)

(%表示は対前期増減率)

コンクリートパイル	場所打ち	鋼管
<u>527</u> 億円 (<u>△12.3%</u>)	<u>128</u> 億円 (<u>+24.8%</u>)	32億円 (<u>△27.3%</u>)

※2021年6月3日付で、部門別の内訳を修正いたしました。

I-3 主なトピックス

国内展開

MAGNUM工法受注拡大

新工法：Smart-MAGNUM工法開発・販売開始

ICT工事管理展開中

継手金具メーカー：シントク工業(株)の連結子会社化

海外展開

ベトナム
PV社

再生可能エネルギー分野での受注拡大推進
風力発電事業への参画

ミャンマー
VJP社

クーデター影響で操業停止・減損計上

I-4 主なトピックス

国内展開

MAGNUM工法受注拡大

- MAGNUM工法は主力工法に成長（国内完工高の1/3以上を占める）
- 工事の大型化に対応

国内完工高比率	2019/3期	2020/3期	2021/3期
大型工事(4千万円以上)	64%	65%	70%
内、1億円以上	35%	34%	45%

新工法：Smart-MAGNUM工法開発・販売開始

- 新工法：「Smart-MAGNUM工法」の開発 ⇒ 更なる優位性強化
2021年1月 国土交通大臣認定取得
(特徴) 「MAGNUM工法」を改良・進化
根固め部掘削径の拡大と杭下拡大根固め部の延長により最適な支持力を実現
- 販売開始
2021年1月より販売開始 ⇒ 2021年度本格的展開

I-5 主なトピックス

国内展開

ICT工事管理展開中

- ICT活用推進で施工品質・施工精度の更なる向上を目指す
 - ✓ 杭工事記録システム「現場検査マイスター」展開中<2020年度より本格導入>
 - ✓ 業界標準を展望

継手金具メーカー：シントク工業(株)の連結子会社化

- 国内業界全体のサプライチェーンの安定的確保／品質向上
- アセアン地域への良質な部品供給体制の構築

【連結決算影響】

負ののれん発生益

10.7億円

I-6 主なトピックス

海外展開

ベトナム
PV社

再生可能エネルギー分野での受注拡大推進
風力発電事業への参画

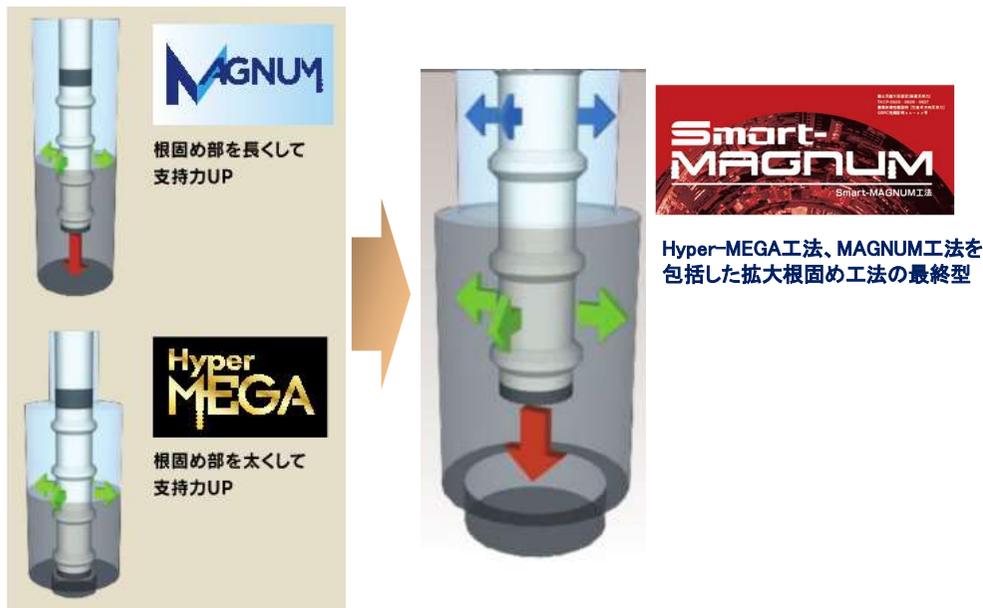
- 再生可能エネルギー分野での受注拡大推進
利益率の高い案件の受注強化
- 風力発電事業会社への出資
CMC社への出資実行額: 約3.3億円
(総投資予定額約8.5億円、出資割合20%)

ミャンマー
VJP社

クーデター影響で操業停止・減損計上

- 2月のクーデター発生により業務環境は大きく悪化・工場操業停止中
 - ✓ 減損実施額 △7.7億円、固定資産の大半を減損済
 - ✓ 事態の推移注視しつつ適切に対応していく方針

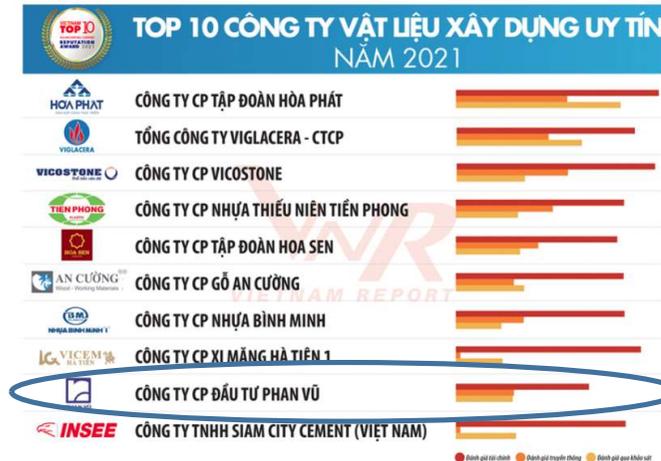
■ Smart-MAGNUM工法



- 2021年3月、PV社はベトナムレポート社より「最も評判のいい建築材料会社トップ10」として表彰されました。

Phan Vu is ranked in the list of Top 10 reputation companies

Phan Vu continues to be ranked in the list of Top 10 reputation companies in the construction - building materials in 2021, this result was officially announced by Vietnam Report on March 25th, 2021. This is an independent research result of Vietnam Report, built on scientific and objective principles. The reputation of companies is assessed based on research on the influence of financial, media and review of industry stakeholders.



目標とするSDGs



I-7 主なトピックス ESG・SDGsへの取組について

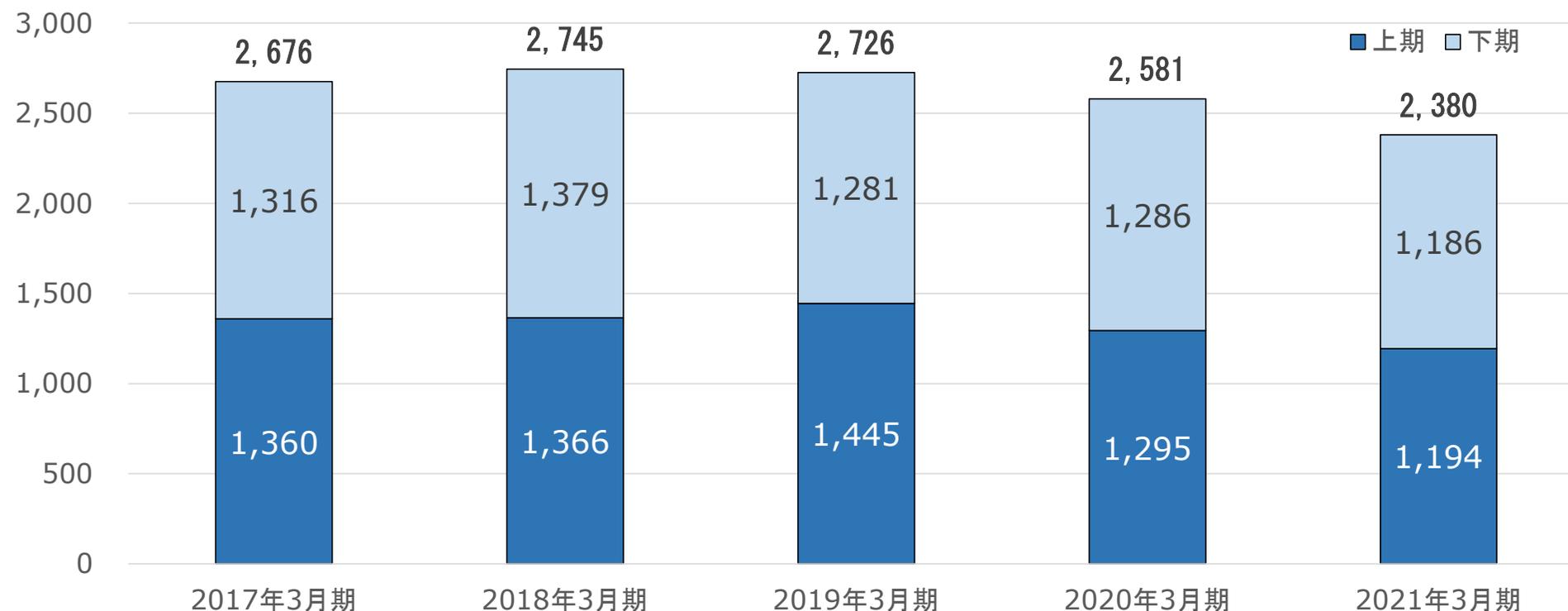


Ⅱ マーケットの動向

Ⅱ-1 全国コンクリートパイロ出荷量

(単位：千トン)

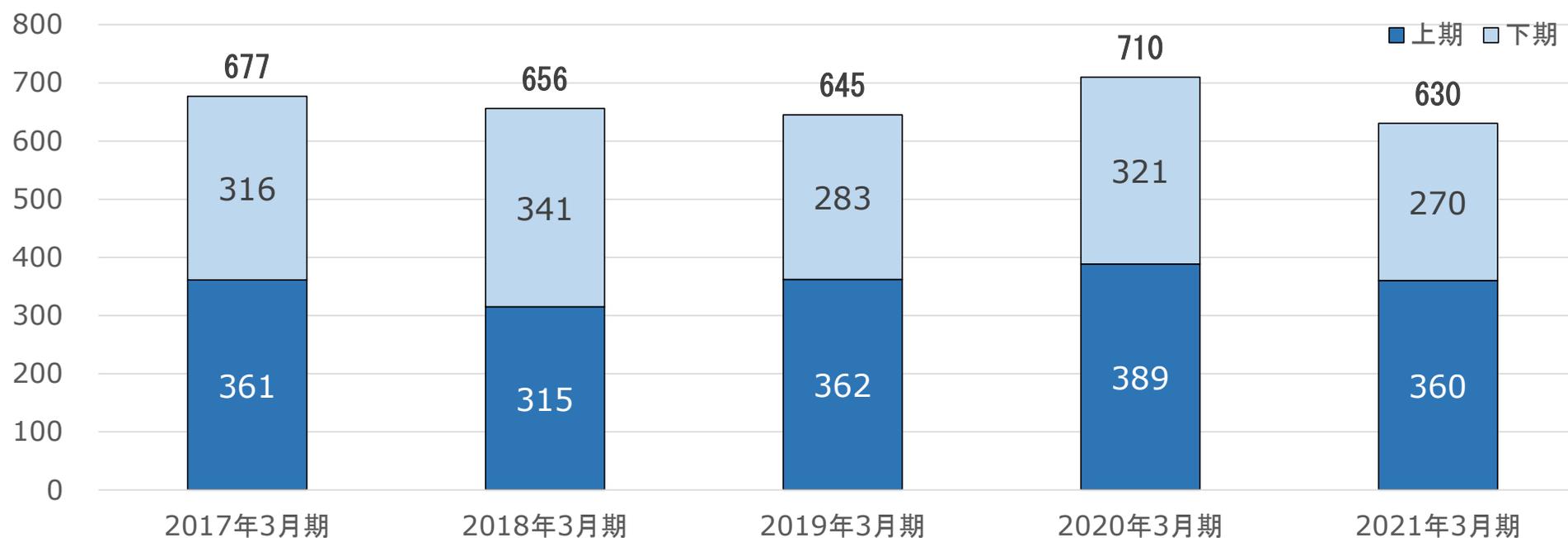
(出典)一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会資料



➤ 官需・民需ともに減少し、前期比 7.8%減少

Ⅱ-2 当社グループのコンクリートパイプ完成量(国内)

(単位：千トン)



➤ 完工量は前期比 11.2%減少

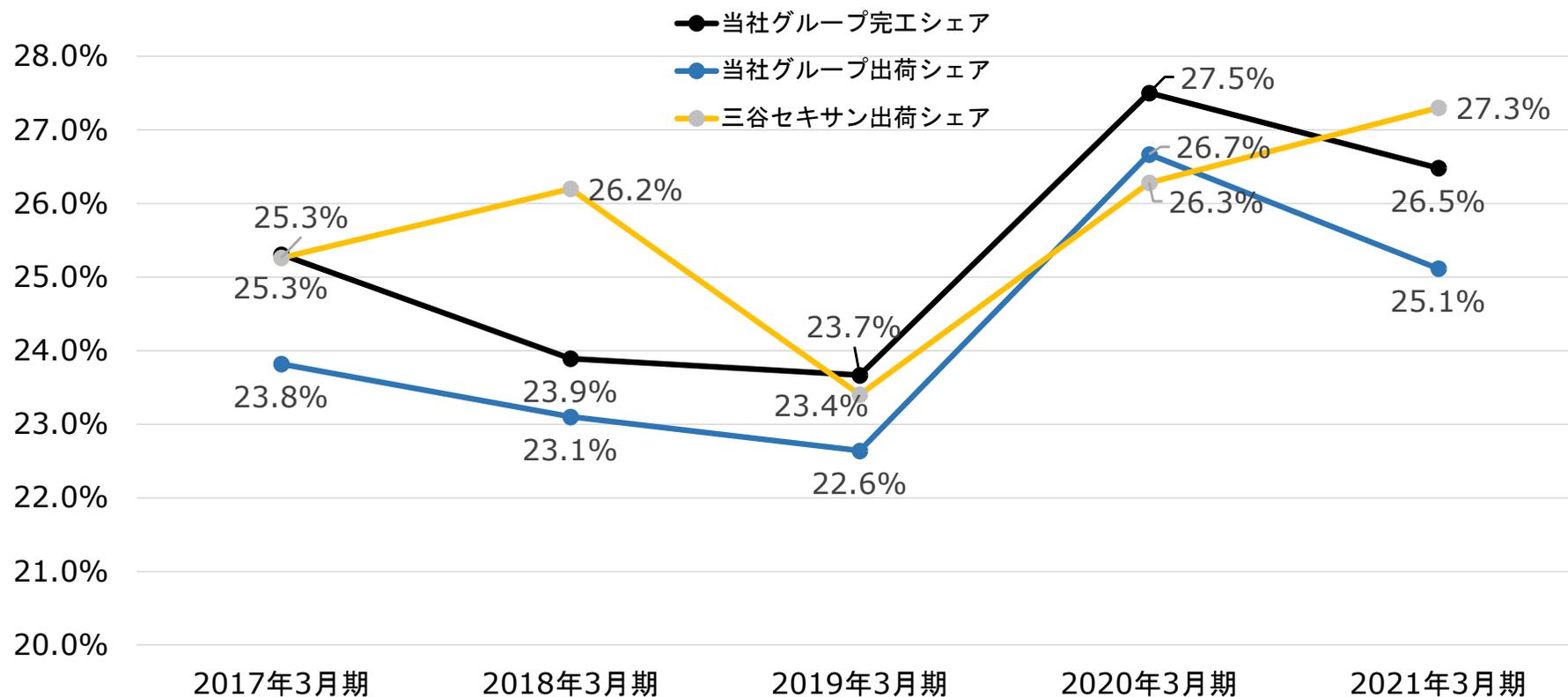
Ⅱ-3 コンクリートパイルのシェア(国内)

(出典)一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会資料および当社社内資料

		2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
当社グループ	完工量(千t)	677	656	645	710	630
	シェア	25.3%	23.9%	23.7%	27.5%	26.5%
	出荷量(千t)	637	634	617	688	598
	シェア	23.8%	23.1%	22.6%	26.7%	25.1%
三谷セキサン	出荷量(千t)	676	719	638	678	650
	シェア	25.3%	26.2%	23.4%	26.3%	27.3%
日本コンクリート工業	出荷量(千t)	213	257	333	241	233
	シェア	8.0%	9.3%	12.2%	9.3%	9.8%
日本ヒューム	出荷量(千t)	249	289	252	247	193
	シェア	9.3%	10.5%	9.3%	9.6%	8.1%
トーヨーアサノ	出荷量(千t)	170	179	175	140	195
	シェア	6.3%	6.5%	6.4%	5.4%	8.2%
業界全体	出荷量(千t)	2,676	2,745	2,725	2,581	2,380
	シェア	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

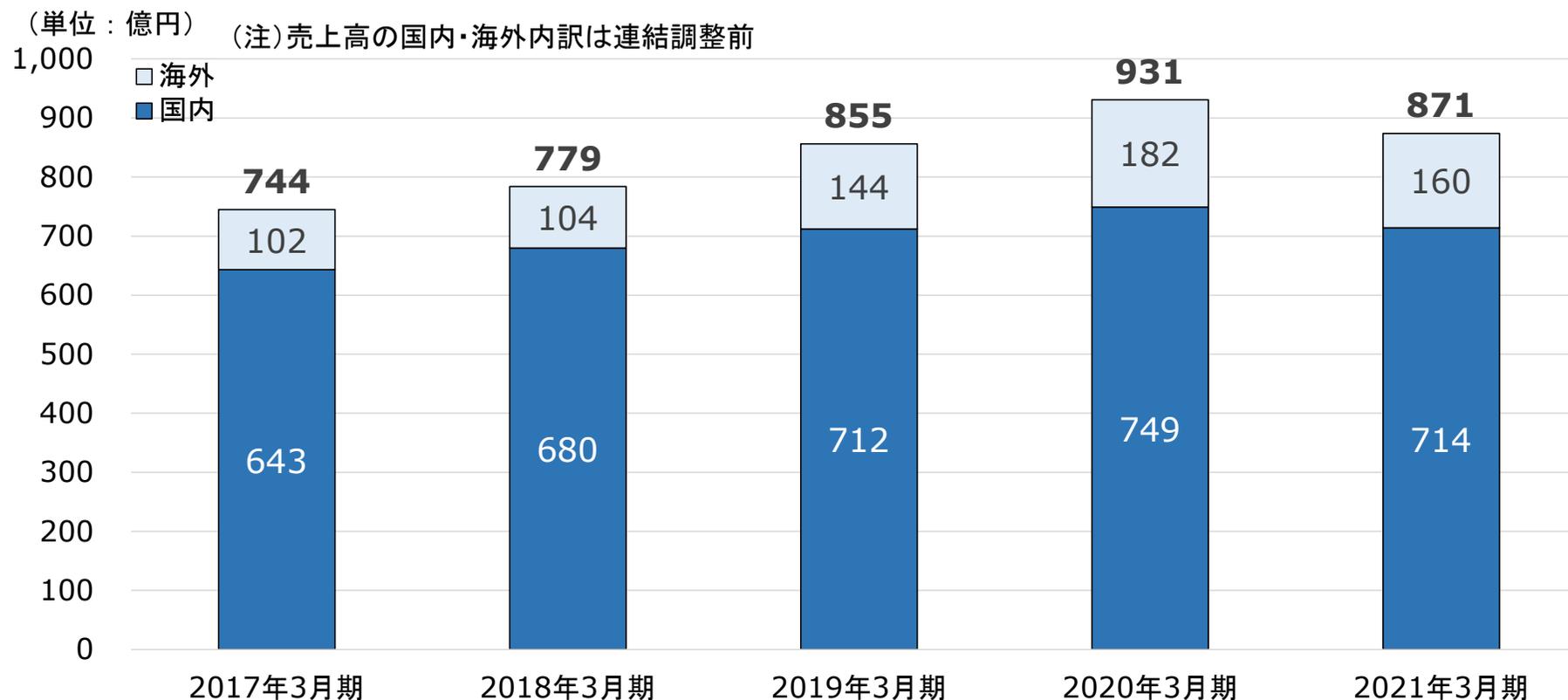
Ⅱ-4 コンクリートパイルのシェア推移(国内)

(出典)一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会資料および当社社内資料



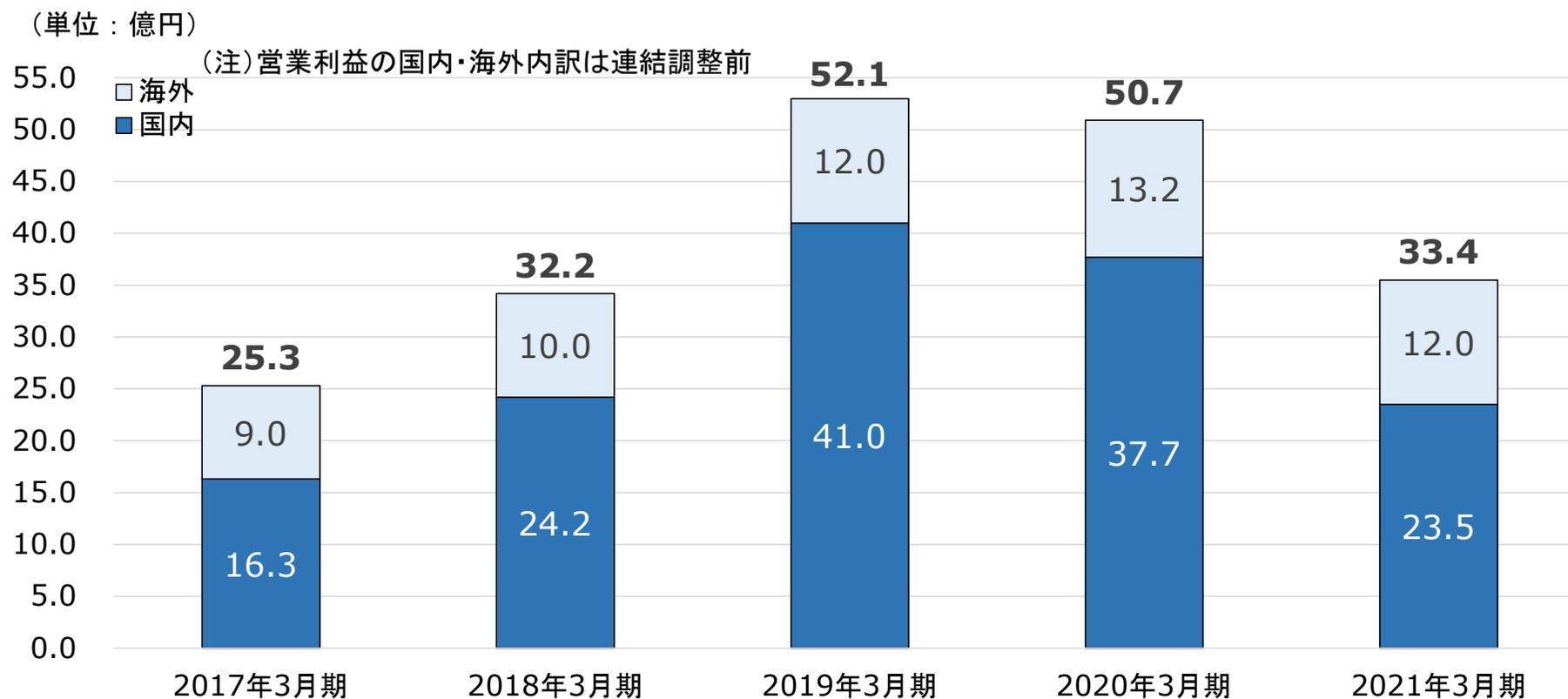
Ⅲ 決算概要(連結)

Ⅲ-1 売上高の推移



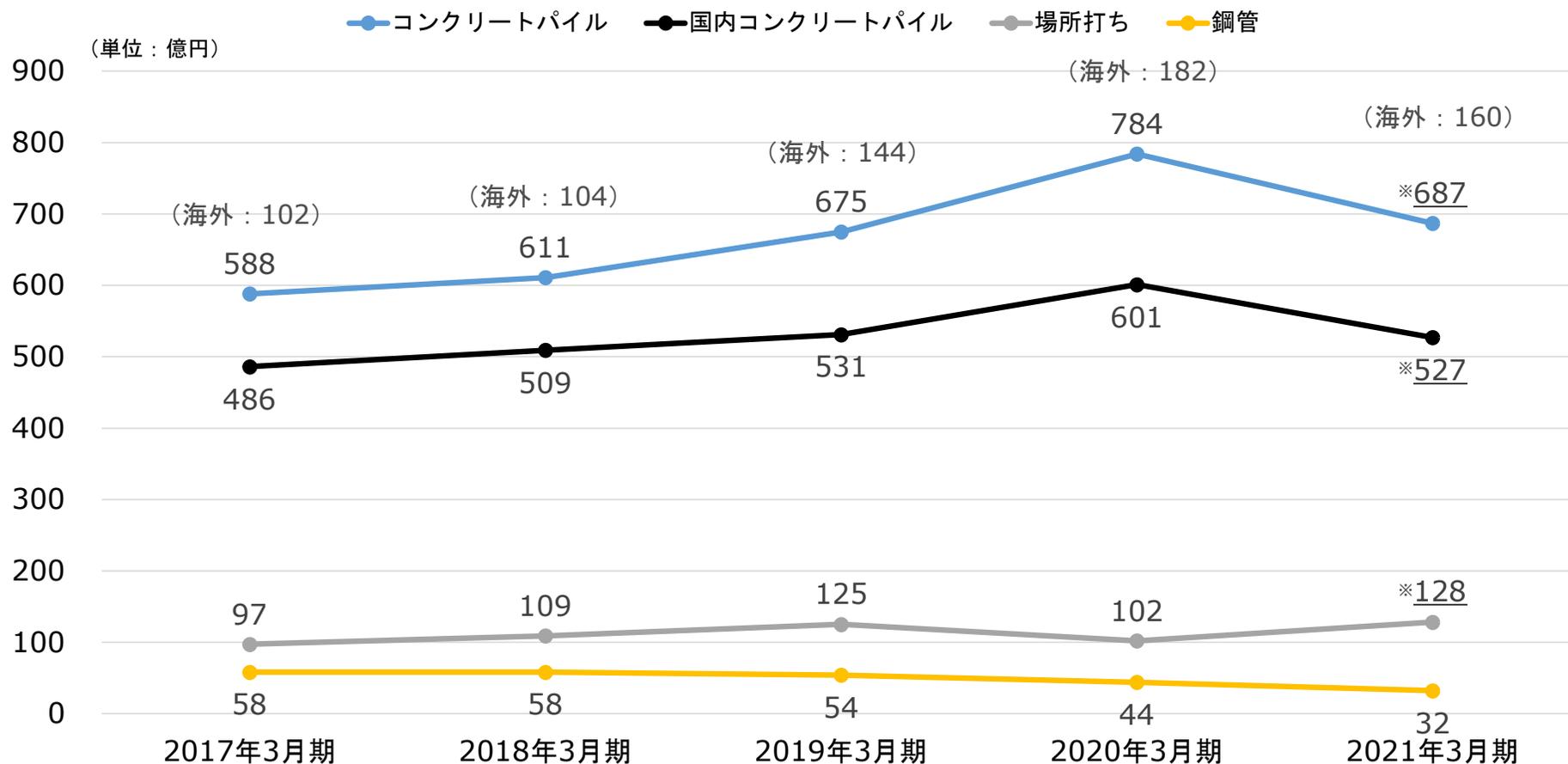
➤国内・海外共に前期比減収

Ⅲ-2 営業利益の推移



➤ 国内は競争激化で減益、海外は若干の減益

Ⅲ-3 部門別売上高の推移



※2021年6月3日付で、部門別の内訳を修正いたしました。

Ⅲ-4 損益計算書

(単位:百万円)	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期 (予想)※
売上高	74,422	77,994	85,566	93,175	87,192	90,000
売上総利益	10,463	11,336	13,593	13,860	12,328	—
営業利益	2,534	3,223	5,212	5,076	3,340	3,500
経常利益	2,382	2,997	4,847	4,596	3,081	3,200
親会社株主に帰属する当期純利益	1,629	1,911	3,164	2,712	2,437	2,000
売上高総利益率	14.1%	14.5%	15.9%	14.9%	14.1%	—
自己資本当期純利益率	6.3%	7.0%	10.5%	8.1%	6.9%	—

※現時点でのコロナ影響を織り込んだ予想

Ⅲ-5 キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,296	1,750	3,195	6,891	7,304
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,502	△ 3,001	△ 3,164	△ 2,549	△ 4,549
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,177	2,014	1,937	△ 3,636	△ 155
IV. 現金及び現金同等物の期末残高	8,759	9,424	11,330	11,957	14,344

IV 経営概況

IV-1 経営概況

1. 前期の概況

(1) コロナ感染の影響

(2) 主力工法の入れ替え

(3) 海外事業の状況

①ベトナム事業

②ミャンマー事業

IV-2 経営概況

2. 当社の経営上の当面の課題とその対処方針

(1) 当社の課題

①場所打ち杭部門の課題

②高支持力工法の課題

③マーケット構成の課題

IV-3 経営概況

2. 当社の経営上の当面の課題とその対処方針(つづき)

(2) 課題への対処方針

- ①場所打ち杭部門の強化
- ②高支持力工法の開発
- ③首都圏マーケットでのシェア拡大

IV-4 経営概況

3. 経営の長期目標

- (1) 内外業務の融合
- (2) 基礎建設会社の地位の確立

4. 今期の業績予想について



アジアパイルホールディングス株式会社

Building the foundations of Asia

アジアの基礎をきずく。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、環境の変化等により、実際の結果と異なる可能性があることにご留意下さい。

また、本資料の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性については一切保証いたしません。